

雄勝地区

11月7日(日)、雄勝公民館で第20回硯のふるさと東北書画展表彰式が行われました。

今年は、東北6県から6、1006点の応募があり、246点が入賞しました。この作品を含む291点が10月16日(土)から11月7日(日)まで雄勝硯伝統産業会館で展示されました。

展示最終日には、入賞者やその家族が県内外から来館し、ずらりと並んだ見事な作品を堪能していました。

今回初めて応募した方は「力作ぞろいでした。今後の活動の励みになりました」と話していました。



硯のふるさと東北書画展開催

河北地区

雨にも負けず大奮闘！恒例の鮭のつかみどり大会



10月30日(土)～11月3日(水・祝)、11月13日(土)、メディアアシップおよびビッグバンで『フェスティバル・イン・かほく2010』が開催されました。

31日に行われたかほく産業まつりでは、毎年恒例の鮭のつかみどり大会をはじめ、大ビンゴ大会や御当地グルメ食べくらへ、友好都市・山形県河北町による特産品販売コーナーなど、小雨にもかかわらず大変な賑わいを見せていました。

また、文化祭では、各文化団体によるステージ披露、書道やちぎり絵などの作品展が行われ、訪れた人はかほくの食や芸術・文化を堪能しました。

桃生地区

10月16日(土)、旧北上川分流施設周辺に整備した北上川河川歴史公園で開園式が開催されました。

開園式では、桃生小学校、登米市立豊里小学校の代表児童が開園のことを発表し、その後テープカットが行われました。

公園内には、展望広場、自然体験広場、交流広場、脇谷閘門・洗堰展望広場、鶴波荒堰展望広場などがあります。

公園を利用できる時間は、市道などの未整備部分があるため、午前8時から午後4時までとなり、自動車での乗り入れもできないため仮設駐車場から公園までは徒歩となります。



北上川河川歴史公園 開園式

河南地区

実りの秋を体感



11月6日(土)、遊楽館で「第20回かほく市民まつり」が行われました。

新鮮野菜や特産品の直売、新米おにぎりや、つきたて餅の販売コーナーには長蛇の列ができ、おいしい実りの秋を体感しました。また、郷土民俗芸能や吹奏楽、舞踊などのステージ発表や、趣味の作品展示があり、素晴らしい芸術の秋も体感しました。

その他、わんぱくキッズコーナーや、健康相談コーナー、庄司恵子と棕沢かずみの歌とトークショーのイベントなど、秋の深まりを感じさせる空の下、約1万6,000人の来場者はそれぞれの秋を満喫していました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

10月5日(火)と7日(木)の2日間、牡鹿交流センター室内温水プールで『着衣水泳教室』が行われました。
石巻海上保安署の職員が指導にあたり、10日は、牡鹿中学校の生徒および各漁協組合員、17日は、鮎川小学校の児童が参加し、水難事故の防止と救助法などを学びました。
参加者は、実際に衣服を着たままプールに入り「服が重い」「泳ぎづらい」などと声をあげながら、水着と着衣の違いを体感しました。また、ペットボトルなどを浮き輪代わりにした『フック浮き』を体験し、誤って海や川に落ちた場合は、慌てず、まず浮くことが命を守る大切なことだとしっかりと学びました。



ペットボトルで『ラッコ浮き』を体験!

北上地区



10月24日(日)、北上地区のにっこりサンパークで「第13回にっこりまつり」が行われました。
この日は天気にも恵まれ、多くの家族連れが、バーベキューや芸能祭を楽しみました。
歌謡ショーでは、観客がステージに上がり、ゲストと一緒にパフォーマンスをするなど、たいへん盛り上がりました。
最後は恒例の大抽選会が行われ、海産物や農産物など豪華地場産品が当たった皆さんは大喜びでした。

おいしいバーベキューしました

石巻地区

10月30日(土)・31日(日)の2日間、秋田県湯沢市小安峡で、「石巻 海の市」が開催されました。
この物産展は、石巻市と湯沢市を結ぶ国道398号(通称「ほや街道」)を通じて毎年、海・山の交流を深めているものです。
会場では、かき鍋やコンブ・タラコなどの海産物、石巻茶色い焼きそばの販売を行い、2日間で4,500人の多くの来場者が海の幸を堪能していました。
実行委員の皆さんは「海の幸を堪能できるイベントで、毎年大人気です。なかでもいかやたらこがよく売れていました。」と話していました。



「おのじぎょとくんと海の市」



10月31日(日)、開北小学校で「楽しさいっぱい・こども展」が行われ、多くの親子連れが訪れました。
ステージでは、県内の保育士や幼稚園の先生などをつくる子育て支援サークル「シャイン」とは「の皆さんが、親子で楽しめるあそびつたやふれあい遊びなどを紹介し、参加者は軽快な音楽にのり、楽しく体を動かしていました。
また、会場には、折り紙とストローで風車を作るコーナーや段ボールの積み木などの手作り遊具があり、子どもたちが夢中で遊ぶ光景に、親も笑顔で応えていました。

遊びを通じた親子の触れ合い

まちの話題